

# 那須町人口ビジョン

初版 平成28年（2016年）3月

改定版 令和2年（2020年）3月

那 須 町

## 目次

1	はじめに	1
2	国の人口推計	1
3	那須町の現状分析	2
(1)	総人口の推移と推計	2
(2)	年齢3区分別人口の推移と将来推計	2
(3)	出生・死亡、転入・転出の推移	3
(4)	年齢階級別純移動数	3
(5)	合計特殊出生率・婚姻数の推移	4
(6)	転入数・転出数	5
(7)	通勤通学による流入数・流出数	6
(8)	企業数・事業所数・従業者数の推移	7
4	目指すべき将来の方向	8
(1)	那須で稼ぎ、安心して働けるようにする	
(2)	那須とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる	
(3)	那須で結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
(4)	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な那須をつくる	
5	那須町の将来展望	9
(1)	将来展望	
(2)	目標人口	
6	おわりに	11

## 1 はじめに

那須町人口ビジョンは、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）が平成25年（2013）年に公表した推計数値をベースに平成27年度（2015）に策定したのですが、平成30年（2018）3月に社人研から新たな推計人口が公表されたところです。

これによると、前回公表時より本町の人口減少率が高くなっており、平成25年を基準にした数値を今後の推計に用いることは、施策の需給にギャップが生じる可能性があります。

また、「持続可能なまちづくり」のためには、長期的視点をより深く掘り下げ、※施策立案、実施のサイクル（P（ST）DCA）に早い時期から取り組む必要があることから、施策展開の基調となる那須町人口ビジョンを改定するものです。

※施策立案、実施のサイクルP（ST）DCA

P（S）	plan(see) 現状把握
P（T）	plan(think) 施策立案
D	do 施策導入
C	check 評価と反省
A	action 改善して行動

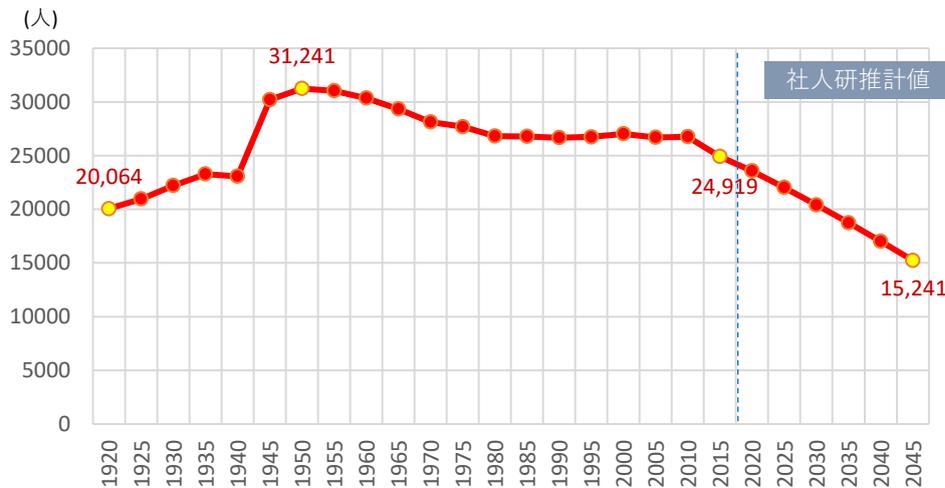
## 2 国の人口推計

総務省統計局が公表したものによると、2019年(平成31年)1月1日現在の総人口は1億2623万人となっています。また、社人研が2017年(平成29年)4月に公表した「日本の将来推計人口」によると、合計特殊出生率が高位仮定(1.65)の場合は、2065年に9490万、低位仮定(1.25)の場合は、8213万人となり、国の目標に掲げている値(1.80)の場合は、1億45万人と推計されています。

### 3 那須町の現状分析

#### (1) 総人口の推移と推計

総人口は、昭和25年(1950年)の31,241人をピークに減少に転じ、平成27年(2015年)には24,919人(国勢調査)となっています。また、社人研が平成30年3月に公表した推計によると、本町の人口は今後減少傾向が続き、2045年には15,241人まで減少すると予測されています。

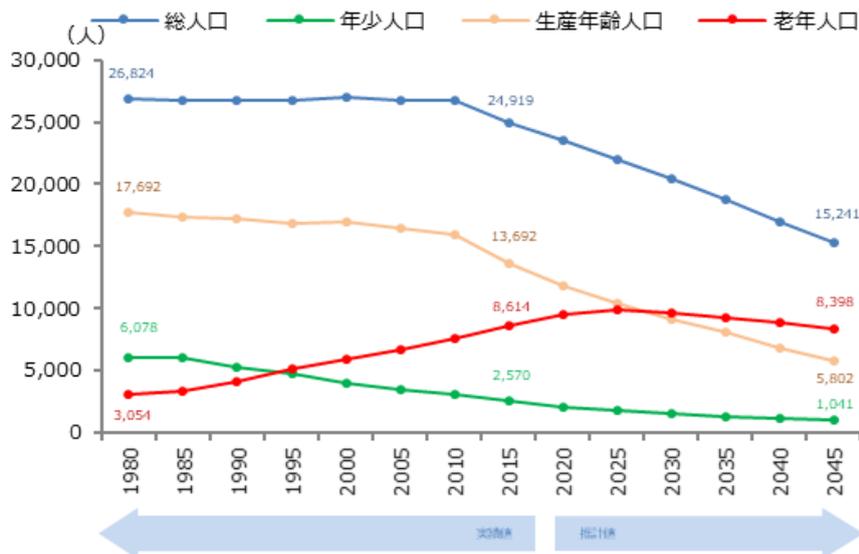


【出典】総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2020年以降は「社人研」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

#### (2) 年齢3区分別人口の推移と将来推計

生産年齢人口が今後急激に減少し、老年人口は増加しており、2025年から横ばいになるものの、2030年には生産年齢人口と老年人口が逆転すると予測されます。また、高齢化率も50%を超えて1人で1人の高齢者を支える社会になるとされています。

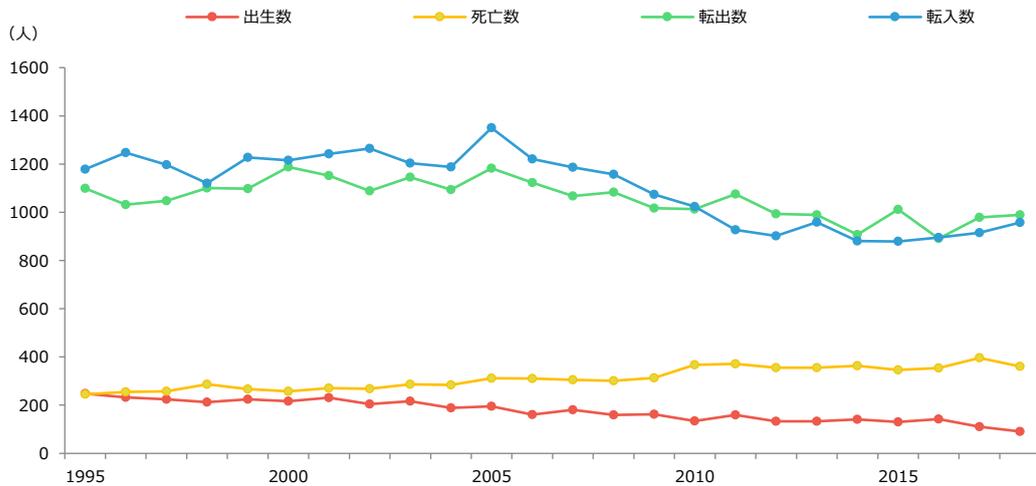


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

### (3) 出生・死亡、転入・転出の推移

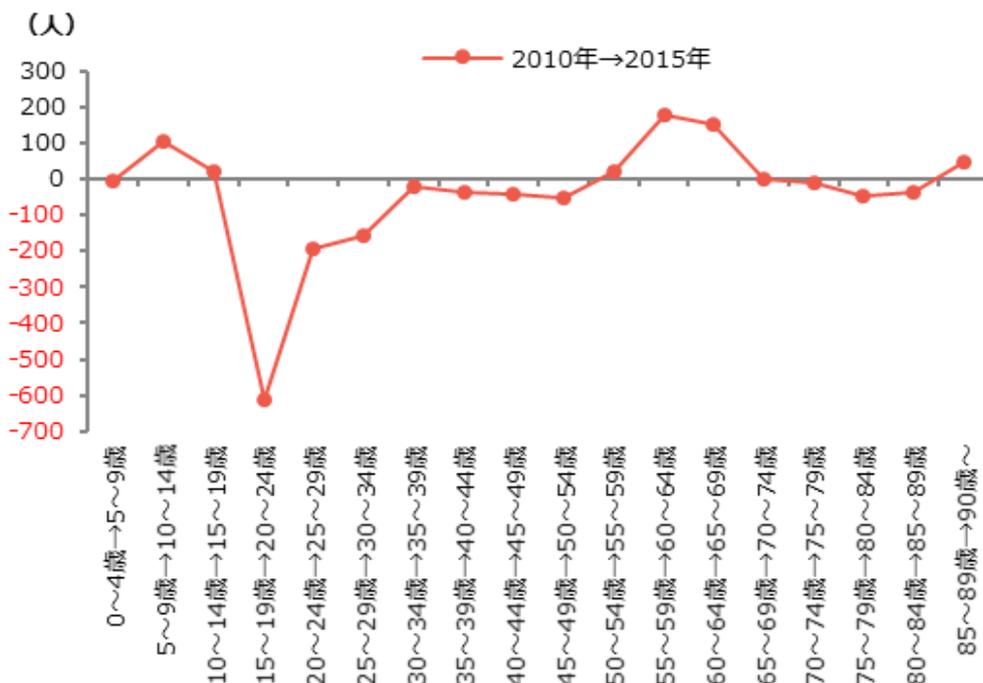
出生数と死亡数の推移から自然減への対策、転出数・転入数の推移から社会減への対策等、人口減に対する政策検討が必要と考えられます。本町では、2011年から転出超過となっており、死亡数と出生数の差も大きくなっている状況です。



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

### (4) 年齢階級別純移動数

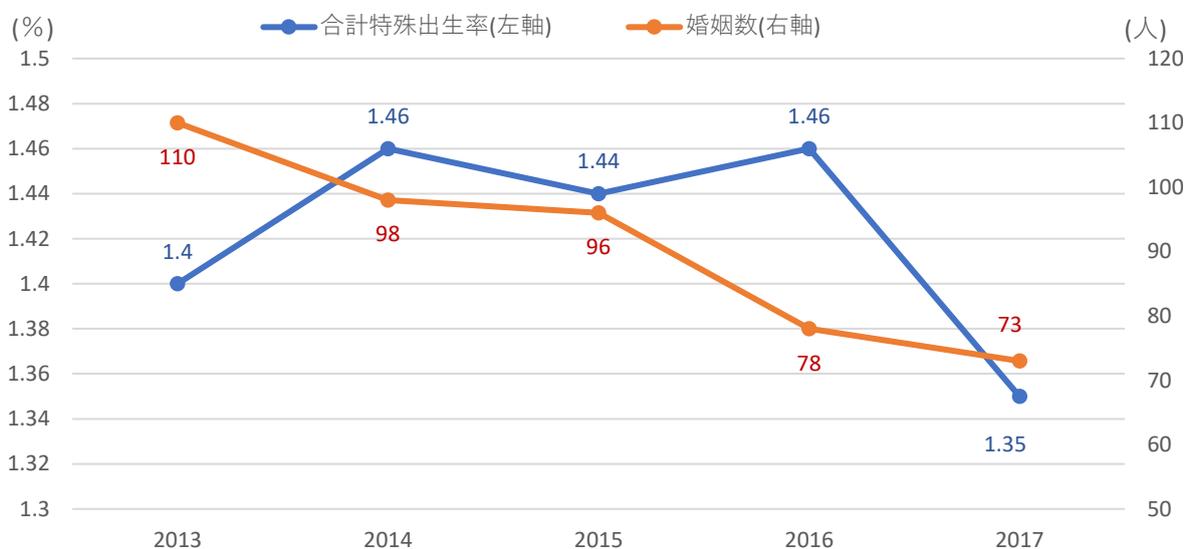
進学等により、10代、20代で大きく転出超過となっており、一方、60代で転入超過となっています。



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

## (5) 合計特殊出生率・婚姻数の推移

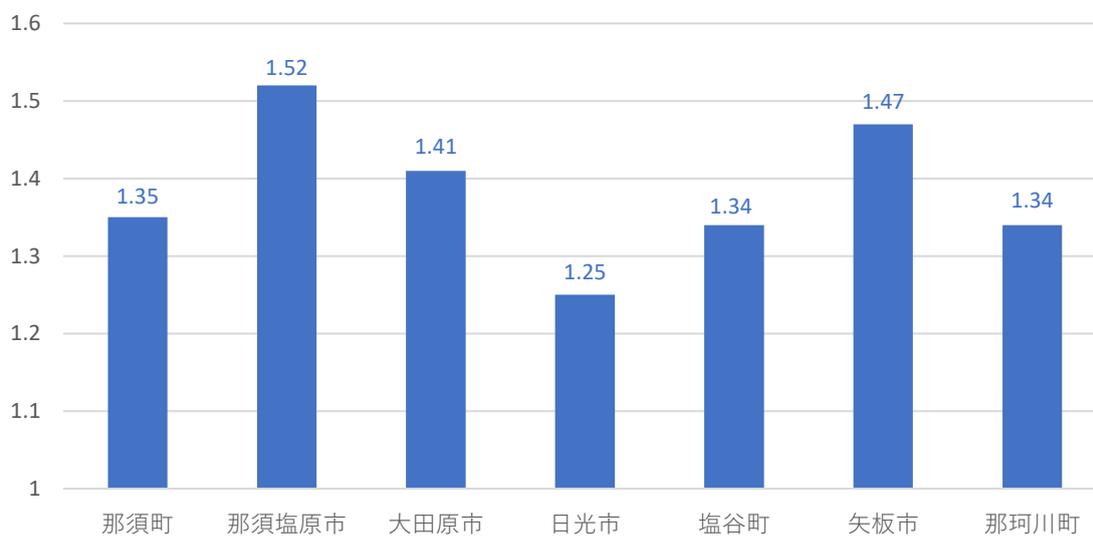
合計特殊出生率は自然増減（出生数）に直結する指標であり、婚姻率の向上、女性の地元定住促進、子育て支援等、政策面での対応が必要と考えられます。



【出典】 栃木県健康増進課「栃木県保健統計年報」、「栃木県人口動態統計(概数)の概況」

## (参考)

### 合計特殊出生率（2017）



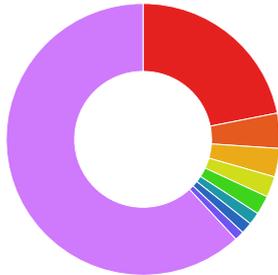
【出典】 栃木県健康増進課「栃木県保健統計年報」

【注記】 近隣市町村の合計特殊出生率の値。全市町25市町中、14番目に高い値となっている。

## (6) 転入数・転出数

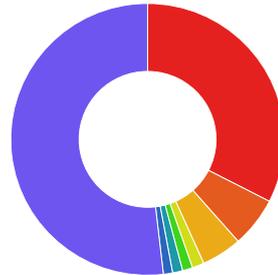
転入数及び転出数とも那須塩原市への割合が多く、転入転出の差においても那須塩原市が最も多い106人の転出超過となっています。

転入数内訳 (2018年)



- 1位 栃木県那須塩原市 (194人)
- 2位 栃木県大田原市 (37人)
- 3位 栃木県宇都宮市 (30人)
- 4位 福島県西郷村 (22人)
- 5位 福島県白河市 (20人)
- 6位 栃木県日光市 (13人)
- 7位 茨城県取手市 (12人)
- 8位 栃木県矢板市 (10人)
- その他

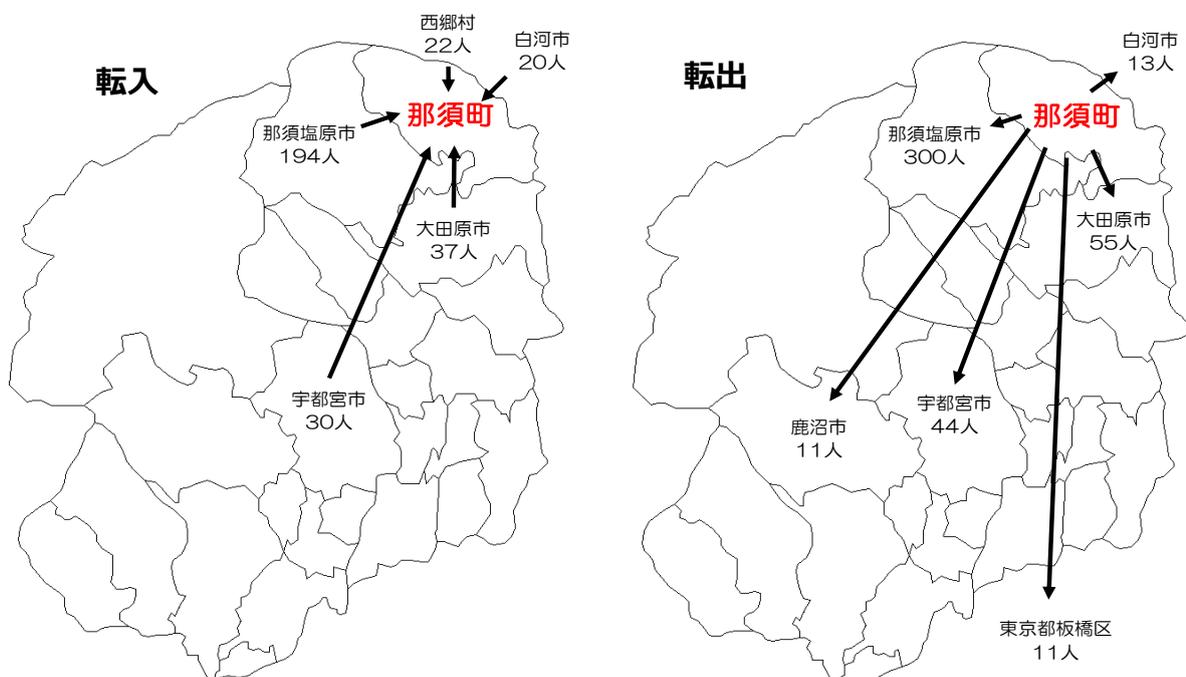
転出数内訳 (2018年)



- 1位 栃木県那須塩原市 (300人)
- 2位 栃木県大田原市 (55人)
- 3位 栃木県宇都宮市 (44人)
- 4位 福島県白河市 (13人)
- 5位 東京都板橋区 (11人)
- 6位 栃木県鹿沼市 (11人)
- 7位 栃木県栃木市 (10人)
- その他

【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

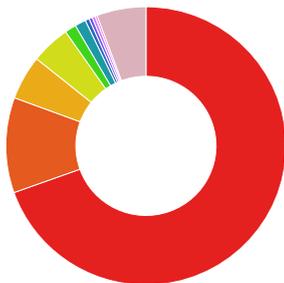
### (参考) 転出入の上位5市区町村



## (7) 通勤通学による流入数・流出数

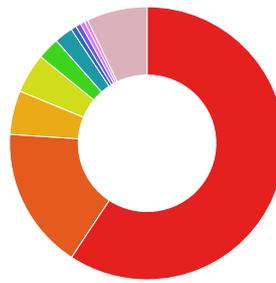
流入者数は6,007人（通勤：5,753人、通学254人）となっています。一方、流出者数は4,622人（通勤：3,993人、通学：629人）となっており、流入者の方が多くなっています。

流入者数内訳（2015年）



- 1位 栃木県那須塩原市 (4178人)
- 2位 栃木県大田原市 (665人)
- 3位 福島県白河市 (309人)
- 4位 福島県西郷村 (272人)
- 5位 栃木県宇都宮市 (79人)
- 6位 栃木県矢板市 (76人)
- 7位 栃木県那珂川町 (28人)
- 8位 栃木県さくら市 (23人)
- 9位 栃木県日光市 (21人)
- 10位 福島県郡山市 (15人)
- その他

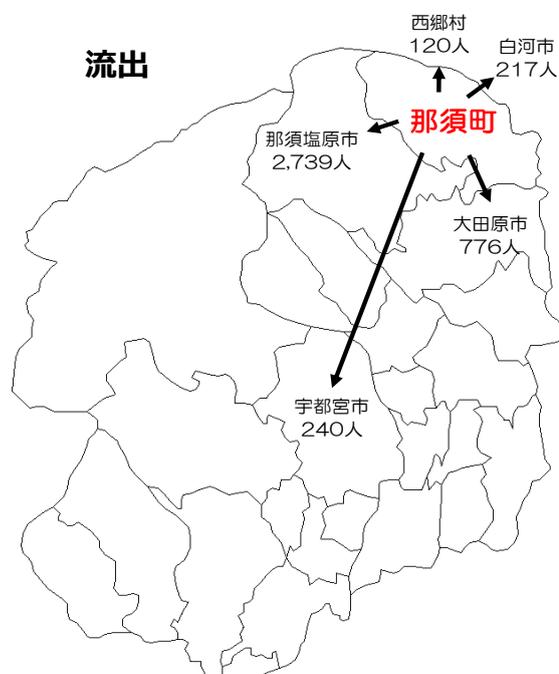
流出者数内訳（2015年）



- 1位 栃木県那須塩原市 (2739人)
- 2位 栃木県大田原市 (776人)
- 3位 栃木県宇都宮市 (240人)
- 4位 福島県白河市 (217人)
- 5位 福島県西郷村 (120人)
- 6位 栃木県矢板市 (101人)
- 7位 栃木県小山市 (29人)
- 8位 栃木県さくら市 (28人)
- 9位 福島県郡山市 (24人)
- 10位 栃木県那珂川町 (19人)
- その他

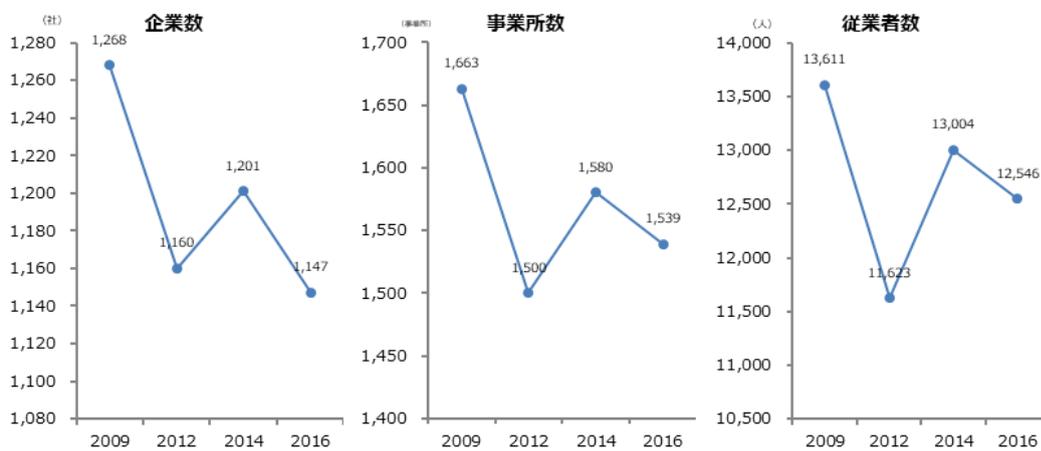
【出典】総務省「国勢調査」

### (参考) 流出入の上位5市町村



## (8) 企業数・事業所数・従業者数の推移

生産年齢人口は減少している中、企業数、事業所数、従業者数については増減を繰り返している状況です。



【出典】総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工。

## 4 目指すべき将来の方向

### (1) 那須で稼ぎ、安心して働けるようにする

「ロイヤルリゾート」として、観光産業を中心に農業や商工業、森林資源など、町の全ての資源を最大限に活用し、6次産業化を推進し、付加価値を高めるとともに、新たな地方創生の担い手となる人材を確保・育成し、那須町の強みを生かし安定した雇用を創出する。

また、那須町特有の多様な就業環境の創出により、幅広い年齢層の町民の経済活動参加を促進し、経済情勢の変化に強い地域産業を育成する。

### (2) 那須とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる

那須町に住み、働き、豊かな生活を送りたい人の希望を実現するとともに、国の総合戦略が示す「東京一極集中の是正」という基本的視点や、町人口ビジョンが示す各地域への転出超過の状況等を踏まえ、那須町に住み、働き、豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる社会環境の実現に取り組む。

また、地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野を拡大するため、定住には至らないものの、継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に取り組む。

### (3) 那須で結婚・出産・子育ての希望をかなえる

将来にわたって安定した人口構造を維持していくために、若い世代、とりわけ子育て世代の転出超過の状況を踏まえ、那須町が若者や子育て世代から選ばれるまちの実現に向け、若者・子育て世代が楽しめ、雇用の確保と子育ての両立、安心して出産・子育てのできる環境づくり、教育環境の充実、住環境の充実などの施策を展開していくことで、子どもや子育て世代がともに希望にあふれる未来を創造する。

また、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくりとして、年齢や障害の有無等を問わず、誰もが交流できる場づくりや、能力を活かしてコミュニティの中で活躍できる新しい働き方の確立など、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合うコミュニティづくりに向けた取り組みを推進する。

### (4) ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な那須をつくる

地域の魅力や資源を活かした活性化や地域コミュニティの再生のための小さな拠点の形成、地域の実情に応じた公共交通の確保など、未来技術の活用や地域連携の促進を図りながら人口が減少しても暮らしやすいまちづくりに取り組む。

また、子どもから高齢者まで、生涯にわたり健康で安心して暮らすことができるように、健康長寿社会づくりや地域包括ケアシステムの推進などに取り組む。

## 5 那須町の将来展望

### (1) 将来展望

社人研の推計によると、2045年の町の人口は15,241人と予測されますが、本町の将来目指すべき人口規模については、これから展開される施策効果が着実に反映されることを念頭に、社人研の推計値を上回る値とすることを旨とします。

従い、将来展望については、今後の総合戦略等に基づく積極的な施策実施の効果により、合計特殊出生率や純移動率が改善され、本町における合計特殊出生率が、2045年には国の目標である1.8を維持し、かつ、これまでの転出・転入傾向が改善されると見込んだ値とします。

### (2) 目標人口

2020年 (令和2年)	24,975人	(改定前) 26,200人	【社人研】 23,577人
2025年 (令和7年)	23,688人	(改定前) 26,000人	【社人研】 22,038人
2030年 (令和12年)	22,368人	(改定前) 25,800人	【社人研】 20,421人
2035年 (令和17年)	21,009人	(改定前) 25,400人	【社人研】 18,749人
2040年 (令和22年)	19,605人	(改定前) 24,900人	【社人研】 17,005人
2045年 (令和27年)	18,290人	(改定前) —	【社人研】 15,241人

- 社人研の推計は、国勢調査人口を基準にしているが、財政シミュレーションを行う場合、納税地である住民登録地を基準とするため、人口推計の基準は、住民基本台帳人口とします。
- 在留資格新設による外国人数の増加は未知数であることから、今回の推計には加えず、次の改定の際に状況を把握します。

[算出方法]

社人研推計準拠（国勢調査人口）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口	23,577	22,038	20,421	18,749	17,005	15,241
年少人口	2,111	1,813	1,588	1,362	1,187	1,041
生産年齢人口	11,887	10,359	9,151	8,090	6,880	5,803
老年人口	9,579	9,866	9,682	9,297	8,938	8,397

ステップ1：社人研推計準拠を**住民基本台帳人口**に置き換える。

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口	24,914	23,432	21,814	20,079	18,258	16,391
年少人口	2,267	1,960	1,669	1,433	1,236	1,056
生産年齢人口	12,782	11,211	9,975	8,794	7,458	6,276
老年人口	9,865	10,261	10,170	9,852	9,564	9,059

ステップ2：ステップ1の数値をベースに出生率を上げていく。

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
(合計特殊出生率)	(1.40)	(1.50)	(1.60)	(1.70)	(1.80)	(1.80)
総人口	24,997	23,636	22,169	20,609	18,947	17,206
年少人口	2,350	2,164	2,024	1,869	1,733	1,581
生産年齢人口	12,782	11,211	9,975	8,888	7,650	6,566
老年人口	9,865	10,261	10,170	9,852	9,564	9,059

ステップ3：出生率を向上させたステップ2の試算に「**移動均衡**」を加える。

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口	24,975	23,688	22,368	21,009	19,605	18,290
年少人口	2,280	2,171	2,182	2,188	2,221	2,213
生産年齢人口	13,104	11,907	11,010	10,262	9,450	8,844
老年人口	9,591	9,610	9,176	8,559	7,934	7,233

## 6 おわりに

人口減少は地方において顕著であり、すでに国の示す20年後の数値に到達している自治体も存在しています。

人口ビジョンを改定し、公表することにより、町民・事業所・行政の共通認識とし、行政側は施策を企画立案、導入していくことが求められます。

特に2020年から2030年の10年間に集中的に施策導入をすることによって、次の10年間（2030→2040年）を展望します。

このため、2019年度に策定する「第2次那須町まち・ひと・しごと創生総合戦略」や2020年度に策定する第7次那須町振興計画後期計画は、第8次振興計画につながる長期的視野のもとに策定していく必要があります。

本計画において示した人口ビジョンを基本とし、掲げた目指すべき将来の方向性の具体的施策について、上記2つの計画に反映・管理し、持続可能な那須町を目指してまいります。

「夢ある未来」を皆さんと一緒につくっていきましょう。

【発行】那須町 企画財政課

〒329-3292

栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13

TEL : 0287-72-6906

FAX : 0287-72-1133

ホームページ : <http://www.town.nasu.lg.jp/>

E-メール : [kikaku@town.nasu.lg.jp](mailto:kikaku@town.nasu.lg.jp)